

件名	令和4年度 第4回 福井市障がい者自立支援協議会 地域移行・地域定着部会 報告書	作成日	令和5年2月1日
		作成者	
日時	令和5年2月1日(水) 14:00 ~ 15:00	会場	ZOOM
出席者	別紙のとおり		
傍聴者	1名		
協議事項	1. 取組内容の広報状況について 2. 令和4年度取組報告書について 3. 令和5年度の改選、取組内容について		
協議内容	<p>協議事項1 <u>取組内容の広報状況について</u> について</p> <p>添付資料あり(資料1)。</p> <p>本部会にて各グループで取り組んだことの広報の現状を取りまとめています。令和4年11月から郵便やメールにて、以前アンケートにお答えいただいた入所施設や病院、各種協会へ案内しています。16番以降については民生児童委員協議会の方へアプローチしており、市内の会長会に部会長・地区相談ほくせい(事務局)とともに出向きました。その結果18番以降のように各地区の会長様より案内をしてほしいと依頼を受け、現在進行形で動いているところです。今後もこういった案内の依頼があれば事務局の方までご連絡をお願いします。</p> <p>補足ですが、地区相談ほくせい(事務局)と共に地域の民生児童委員の皆さまのところへピーアールしに行った理由としては、障がいがあっても自分が生活したいところで当たり前に住めるようにしていくのが、障害者総合支援法の趣旨かなと考えるので、施設や病院から自宅へ帰ってくる際にトラブル等無いよう地域住民の皆さまに障がい理解などをしてもらえるようにピーアールしにいったということです。</p> <p>協議事項2 <u>令和4年度取組報告書について</u> について</p> <p>添付資料あり(資料2)。</p> <p>令和5年2月14日(火)の全体会への報告のための書類です。令和4年度当初の計画と大きな変更なく作成しています。各グループでの作成、取り組み内容の広報をしている状況であることを報告させていただこうと考えています。</p> <p>民生児童委員など地域住民に向けては地道に活動を行っていかねばいけないと考えています。施設や病院からの依頼がないことはコロナウイルス感染拡大の影響もあるのかなと予想されるため、コロナウイルス感染症の影響が少なくなれば、依頼は増えていくのではないかと考えています。</p> <p>【結論】</p> <p>・了承</p>		

協議事項3 令和5年度の改選、取組内容について について

添付資料あり(資料3-1、3-2)。

前回の部会でもお伝えしましたが、来年度部会員の改選となりますが、本部会の取り組み内容に関しては継続的に活動をしていく方向で協議が進んでいますので、あまり大きく部会員の構成は変えることはできないと考えています。

資料のように移行側/移行後の支援者という形で分けをし、精神・知的・身体と満遍なく構成している状態です。またグレーアウトしている部分は前回の改選までは参加していた機関の方々ですが、内容に応じてオブザーバーとして緊急招集もできる形で残しています。

現状数名からは異動等で継続が難しいという話を聞いているが、後任を選任していただいています。異動は4月と考えられるが、現状は継続して参画していただけるとありがたい、難しければどなたかご推薦してほしいと考えています。

協議事項4 振り返り について

今年度1年間を振り返り、今後こういことをしていくと良いのではないかと、という助言等をいただきたいのでコメントをください。

地域移行には関係ないかもしれないが、介護保険の事業所の方でヤングケアラーという話題が挙がっている。障がいの方でも掘り下げていくと様々な方向性が見えてくるのではないかと考えます。

精神障害の方、障害者の方は事業所の3分の1以上を占めているため福祉系の方々と2年間取り組みや活動ができたことはよかった。今後も本部会があることなどを伝達しながら、精神の方々が住みやすい地域になっていけるようになればよいなと考えました。

コロナウイルス感染拡大の影響で皆さまと顔を合わせてお会いできなかったのは残念に思います。業務として地域に出ることも多く、担当は川西で地区社協の窓口にもなっています。そんな中で地域の方々と話していると障がいのある方との関わりについて話が出てくることはあまりない。担い手の不足や高齢者の見守りの話が多く、漠然と呼びかけても障がいのある方との関わりや地域で一緒に生活していくといった話にならないのではないかと感じています。こういった部会に関わらせてもらい、今後はコチラから呼びかけていかなないとなかなか話題にならないのかなと実感しており、地域の方々と腹を割って話していくことが必要であると思っています。

本部会のような活動はすぐに効果が出るものではないので、地道に小さくとも続けていくということが大事であると思っているので微力ながら協力していきたいと思っています。

本部会の取り組みについて地区相談からの依頼もあり、今後も広がっていくのではないかと

と思っています。入院(入所)からの地域生活についてあまり進んでいないという認識があるようであるが、個人の実感としては長期入院からグループホームや高齢者向け住宅への移行者がかなりいるように感じており、物凄い勢いで地域移行が進んでいるように感じるので、数の出し方などの検討をしていくとどうかと考えています。

地域社会に障がいのある方の理解を促進していく取り組みは継続していく必要があると感じています。

ピアサポーターグループであったが、今年度は依頼がないため活動がないという現状でした。部会長が作成したQRコードから閲覧できるホームページは非常に良いものであるためどこか大々的に広報出来たらと思いました(例えば自立支援協議会のホームページなど)。

研修グループとして資料作成したが、活動実績がなかったのが残念でした。厚生労働省・法務省主催による協議会に参加していたが、昨年度から刑務所の中に入っている方だけでなく、入る前の方(被疑者・被告人段階の方)への支援というのも始まっています。弁護士会なども関わってもらい支援者数も増えてきており、全国的にも精神障害をお持ちの方というのが支援依頼に繋がる方が多い現状があります。

昨年度サービス管理責任者になった時に同時にこの部会に参加させていただきました。今年は研修資料の作成をさせていただいて、とても勉強になりました。また異動はちょっと4月にならないとわからないんですけども、またこの会に参加出来たら良いなと思っております。またその時はご指導のほどよろしくお願いします。

今年度は事務局として各グループにオブザーバーとして配置されたが、主に資料作成の部分には力を入れてできたので良かったと思います。取り組みや活動を継続して行っていくことが重要というのは、本当にその通りだなと思いました。資料作成したことに満足せずに、これをどうやって地域に住んでいる方々に理解してもらえるのかを考えていかないといけないと思いました。また各地区の公民館に赴き、研修依頼等が来るようにしていかなければいけないなと思っているので引き続きよろしくお願いします。

自事業所は日中活動の提供の事業所であるが、地域の方々と話をするとまだまだ障がいのある方の理解は進んでいないと感じます(何をするかわからない、怖い等)。実際に触れ合ってみると認識が変わってくださる方もいるので、地道に取り組みを継続していく必要があると思います。

アンケートグループについては来年度、各グループの活動をする時に出すアンケートを作成し、内容を改善していけるようにしてほしいと思っています。また施設や病院等から依

	<p>頼が来ないのはなぜか、など分析してほしいなと考えています。</p> <p>部会員として懸命に協力をしてくださっているが、コロナウイルス感染拡大の影響でオンライン会議しか開催できなかった。皆さまと顔を合わせて活動ができると良かったと思います。</p> <p>コロナウイルスのタイプが変更になるという話もあるので、開催方法については状況を見て検討していきたいと考えています。集合開催について 20 人以上収容できる会場等の情報があれば教えてください。</p>
第 回 部会	